

第9 集落の整備

1. 現況と問題点

3地域の集落は、海岸線を走る国道279号、国道338号及び県道沿いや、川内川、大畑川及び脇野沢川など、川沿いに形成されている。

各集落とも人口の減少が著しく高齢化が進んでいることから、地域防災体制の整備、交通手段の維持・確保並びに新たな公共交通手段のあり方が課題となっている。

また、一部の集落では、人口減少に加え高齢化人口が半数を上回る状況になっていることから、地域行事やイベントの開催、運営をはじめ、伝統、文化の継承などが大きな課題となっている。

○川内地域

本地域は、海岸線を走る国道338号沿いに9集落、川内川沿いに北上して6集落、その他の河川沿いに2集落の計17集落がある。各集落とも人口の減少が著しく、また高齢化が進んでおり若者の流出が多くなっていることから、防災体制の維持や伝統芸能の継承などの課題が生じている。

生活環境施設については、基幹集落を中心として生活の都市化に対応した整備が進められてきているが、周辺に点在する小規模集落にあっては基幹集落に比べると遅れている状況にある。

交通環境については、川内川沿いの6集落を結ぶJRバス路線が運休・廃止となった経緯から、民間事業者へ補助することにより廃止路線代替バスが運行されているが、地域にとって重要な路線であり引き続き、運行の維持・確保が望まれている。

また、地区の生活道路や側溝、広場、公園など、生活環境の向上を図る必要がある。

○大畑地域

本地域は、国道279号沿いに本町、正津川、二枚橋、木野部、赤川の5集落、大畑川沿いに堂近、高橋川、小目名、薬研の4集落、正津川沿いに関根橋の1集落の計10集落がある。

中心集落である本町地区は住宅化が進み、都市的な土地利用の進展が見られるが、その他の集落の多くは宅地が少なく、おおむね以前からの集落環境を今に伝えている。各集落とも人口の減少並びに高齢化が進んでおり、今後におけるコミュニティの運営・維持が大きな課題となっている。

なお、交通環境については、民間事業者へ補助することにより運行されてきた薬研・小目名線の路線バスが廃止されたことから、新たな公共交通手段としてデマンド型乗合タクシーの実証運行を開始し、交通環境の維持・確保に努めている。

また、道路、側溝、海岸等の整備を要する事項も多く、これらを計画的に整備し、生活環境の向上を図る必要がある。

○脇野沢地域

本地域は、国道 338 号沿いに 5 集落、県道九艘泊線沿いに 6 集落の計 11 集落で構成されている。

中心集落である本村地区では脇野沢川河川改修事業による住居移転があり、一部宅地化が進行したものの、その他の集落では宅地化には至っていない。

集落間の交通環境は、民間事業者へ補助することにより廃止路線代替バスが 2 路線運行されているが、交通弱者には唯一の公共交通機関であることから引き続き、運行の維持・確保が望まれている。

また、道路等交通基盤などについて計画的に整備し、生活環境の向上を図る必要がある。

地域別集落数、総世帯数

区 分	川 内 地 域	大 畑 地 域	脇野沢地域
集 落 数	17	10	11
総 世 帯 数	1,762	3,001	748

資料：平成22年国勢調査

2. その対策

- ・コミュニティ活動の推進、支援
- ・生活道路や側溝、広場、公園等生活環境の向上
- ・各集落間の道路基盤整備
- ・各集落間の交通機関の確保
- ・集落ネットワーク圏形成支援